

国連アジア太平洋 経済社会委員会 (ESCAP) 北東アジア事務所

2010年設立
北東アジアの国々をつなげて

UNESCAP East and North-East Asia Office

联合国亚洲及太平洋经济社会委员会 东亚和东北亚办事处
国連アジア太平洋経済社会委員会 北東アジア事務所
유엔아시아태평양경제사회위원회 동북아시아사무소
НҮБ-ийн Ази, Номхон Далайн бус нутгийн Эдийн
Засаг-Нийгмийн Комиссын Зүүн болон Зүүн хойд Азийн оффис
ЭСКАТО ООН Отделение Восточной и Северо-Восточной Азии



中国
China



北朝鮮
Democratic People's
Republic of Korea



日本
Japan



モンゴル
Mongolia



韓国
Republic of
Korea



ロシア
Russian
Federation



ESCAP 北東アジア事務所 (ESCAP-ENEА) へ ようこそ



国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) はアジア太平洋地域を担当する最大の多国間協力組織であり、知識ハブです。ESCAPはアジア太平洋諸国と共に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に沿い、経済・社会・環境のバランスがとれた開発を推進しています。

アジア太平洋地域は、世界の他の地域と比べれば貧困の大幅な削減に成功したものの、依然としてその住民の7億5千万人が貧困に苦しんでいます。地域の多くの国において、気候変動に伴う極端な天候や自然災害に見舞われていることなどが、その解決を更に難しくしています。アジア太平洋地域の開発課題を解決し、開発の恩恵を地域全体で享受できるようになるには交易促進や交通網の整備、ICT網の整備、人と人のつながり、科学や技術の革新等によって持続可能な開発を進めていくことが大切です。

ESCAPの北東アジア事務所は、上記のような様々な分野における協力関係をつくるために重要な役割を果たしています。2010年5月21日に韓国・インチョン(仁川)に開設されて以降、ESCAPが取り組んでいる優先課題を北東アジアに広め、持続可能な開発に向けて北東アジア各国同士の間での連携を促進してきました。この努力により、交易の促進、国境を越えた環境問題の解決、国際開発協力、高齢社会対策といった分野において北東アジア各国間の数々のネットワークや知識交換の場を構築してきました。北東アジア地域内でこういった協働が促進されることは、アジア太平洋地域全体での協働を進めるための大きな貢献となります。

北東アジア事務所の5年間の活動を嬉しく思い、これからもESCAPの優先課題を北東アジアにおいて推進していくことを願っています。アジア太平洋地域の国々が、包括的で持続可能な開発に向けて進展するよう、共に活動してゆきましょう。

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Shadda'.

国連事務次長・ESCAP事務局長
シャムシャッド・アクタール



国連ESCAP北東アジア事務所は国連総会決議により6つの加盟国(中国、北朝鮮、日本、モンゴル、韓国、ロシア)と2つの準加盟メンバー(香港、マカオ)をサポートするべく、2010年5月21日に韓国インチョン(仁川)市のソンド(松島)に開設されました。北東アジアの上記6カ国が参加する唯一の多国間協力組織であり、同6カ国が加盟するNEASPEC(北東アジア環境協力機構)の事務局でもあります。

バンコクにある国連ESCAP本部と連携し、本事務所開設以来、持続可能な開発のため北東アジア各国をつなぐネットワークを築いてきました。例えばNEASPECという政府間機関を通して、北東アジアの海洋保護区のネットワーク(NEAMPAN)を立ち上げたり、国境を越えて飛散する大気汚染物質対策やモンゴルでの砂漠化を防止するための協力ネットワークなどがあります。また、持続可能な消費行動と生産活動をサポートするため、二酸化炭素排出量を商品ラベルに表示するアジア・カーボン・フットプリント・ネットワークも本事務所の活動のひとつです。

経済開発においては、陸路を使った交易促進のため中国、モンゴル、ロシアの3カ国間協議を開いたり、北朝鮮の通商関係政府職員の技術訓練を行ったり、モンゴルで他国との通商関係手続きを一つの窓口で総括できる仕組み(シングル・ウインドウ)を立ち上げるなどの活動をしてきました。社会開発においては、北東アジアが世界で最も高齢化の進んだ地域であることを踏まえて「持続可能な高齢化社会のための情報交換と知識共有プラットフォーム」を立ち上げました。これらは多国間協力と知識共有が北東アジアの国々やその他の地域の国々の持続可能な開発に役立つ一例です。

国連ESCAP北東アジア事務所は加盟国間の知識共有をさらに促進し、持続可能な開発のため各国間の協働を推進してまいります。

ESCAP北東アジア事務所長
キラパルティ・ラマクリシュナ

ESCAP 北東アジア 事務所とは



ESCAP 北東アジア事務所は、以下のような役割を担っています。

- ESCAP本部（在バンコク）の業務を北東アジア地域にて促進
- 北東アジア地域の多国間協力の促進
- 北東アジア地域での国連活動の拠点
- 北東アジア環境協力機構(NEASPEC)の事務局運営

スタッフ

多様な学歴や業務経験を有する、10カ国からの職員が在籍しています。こうした多様性を通じて、北東アジア地域のESCAP加盟国が、マクロ経済、貿易、運輸、防災、環境、社会開発等の分野で、地域の開発目標を達成できるよう様々な支援を行っています。

パートナー

北東アジア事務所が開発協力の拠点としての力を十分に発揮できるよう、各国政府や諸団体との強力なパートナーシップのもと、北東アジア地域での開発協力に向けたプログラムを企画・実施しています。市民団体、政府関連研究機関、学界、多国間機構のほか、国連グローバル・コンパクト、アカデミック・インパクト、国連経済社会理事会のオブザーバー資格を得たNGO等、国連の諸活動に携わっているパートナーとともに活動しています。

北東アジア地域の概要



北東アジア地域の6カ国が 世界に占める割合



世界人口の



世界のGDP、
貿易の



世界の二酸化炭素(CO₂)
排出量の



世界の65歳以上
人口の

活動概要

社会格差の
是正

北東アジア地域内の
交易促進



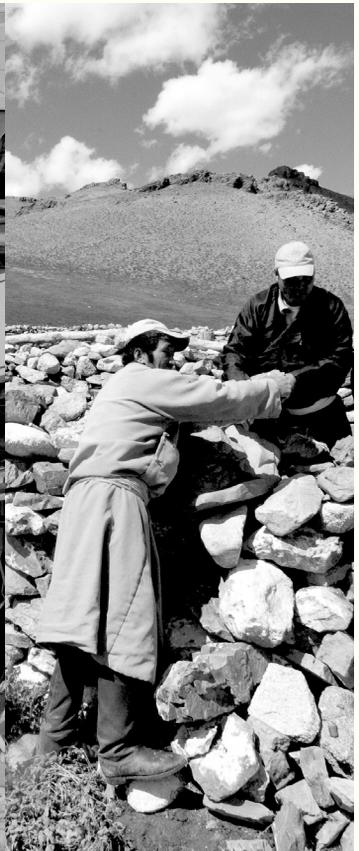
環境持続性の
改善



防災対策の
促進



国際開発協力の
推進



社会格差の是正

北東アジア地域全体としては、近年驚くべき経済的繁栄を謳歌していますが、国内では経済的・社会的格差が広がりつつあり、その是正は地域共通の課題となっています。社会のひとりひとりが開発や発展に参加しその恩恵を享受できるよう、北東アジア地域内の協力や優良事例の共有を促進しています。



预览已结束，完整报告链接和二维码如下：

https://www.yunbaogao.cn/report/index/report?reportId=5_3850

